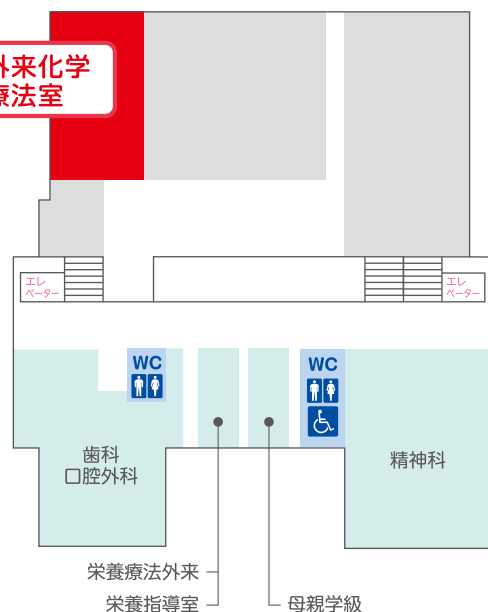


●外来化学療法室 (外来棟3階)

外来化学
療法室



外来棟
3F

外来化学療法室は、外来棟3Fにあります。正面入口側の階段・エレベーターからお上がりいただけます。

●中央採血室 (外来棟2階)



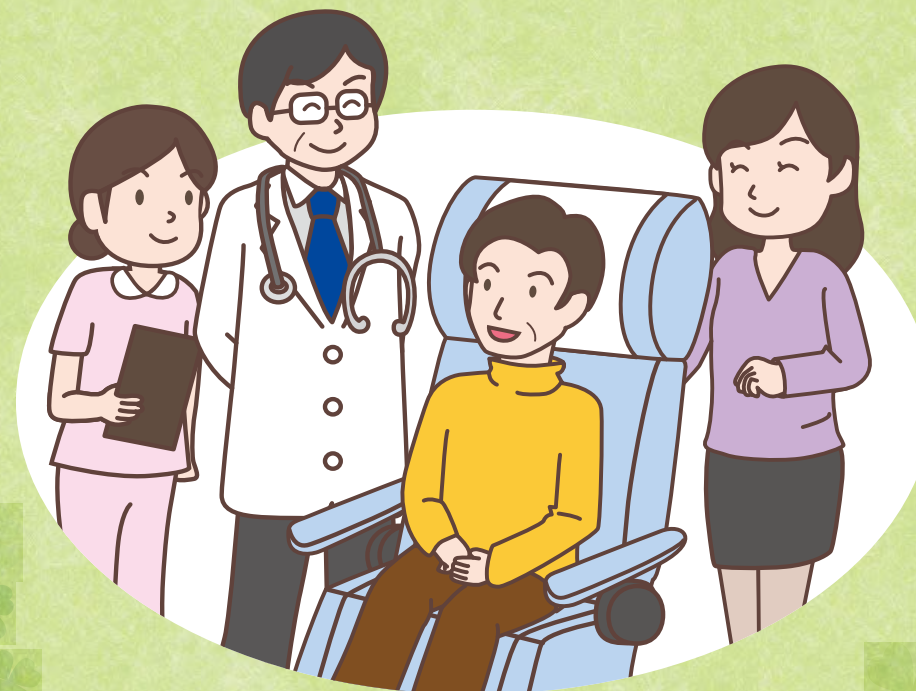
中央
採血室

外来棟
2F

愛媛大学医学部附属病院
外来化学療法室
〒791-0295 愛媛県東温市志津川
tel.089-964-5111(代表)
URL <http://www.hsp.ehime-u.ac.jp>

VEGETABLE OIL INK 環境に配慮した植物油インキを使用しています。2019.7 第0版

外来化学療法室の ご案内



愛媛大学医学部附属病院
EHIME UNIVERSITY HOSPITAL

もくじ

ご利用案内

ご利用になる方へ	P 2
外来化学療法室について	P 3
治療当日1日の流れ	P 5
外来化学療法室の流れ	P 6

注意事項

注意事項①治療前	P 7
注意事項②治療中（点滴中）	P 7
注意事項③治療後（点滴後）	P 8
連絡先・相談先	P 8
通院治療での注意事項	P 9
相談について	P10

副作用について

副作用について	P11
副作用チェックシート	P12

ご利用になる方へ

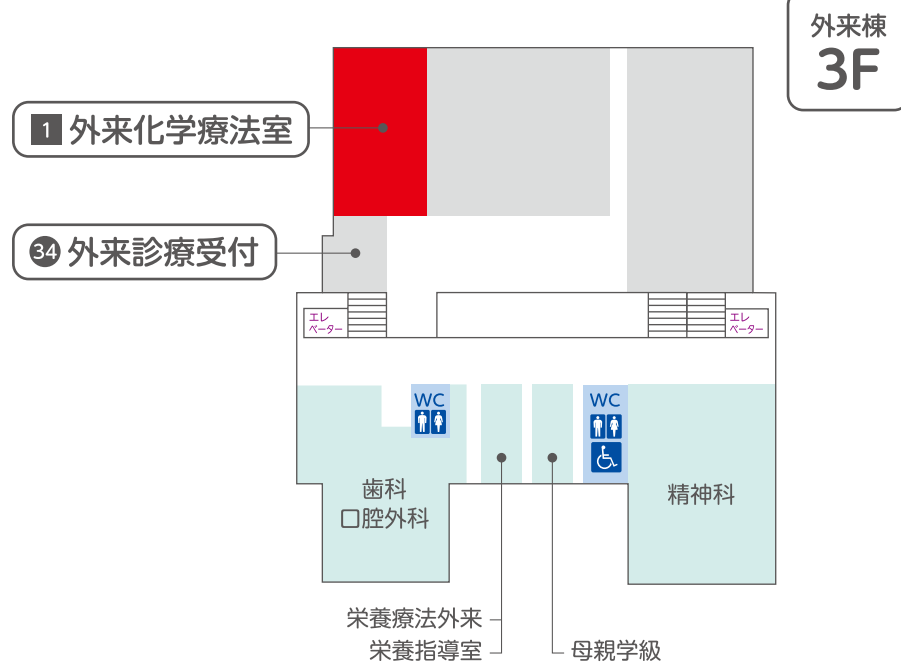
これから外来での治療が始まります。
以前は、安全性の面から入院治療が行われていたが、副作用を防止する有効な薬の開発や、薬の量や投与間隔を調整するなどの副作用を調整する方法の進歩から、通院での化学療法が可能になってきました。

通院しながら治療を続けられる良い面は、**それまでのライフ・スタイルを変えずに生活できる**という点があります。自宅での生活を続けながらの治療は、リラックスした状態で治療を受けることができ、心身共に負担が軽減されます。
また、体調をみながら仕事を続けることもできるので、精神的に意欲が出てくるようです。

その一方で、常に医療者が近くにいるわけではないので、何か症状が出たときにどうすればいいのかわからなくて不安になられることもあるかと思います。治療が少しでも楽に続けられるようにお手伝いをしたいと思っています。

困ったことやわからないことがありましたら、お気軽に看護師へご相談ください。

外来化学療法室について



場所は、外来棟3階にあります。診察券で確認させていただきますので、ご自身でお持ちください。

各ベッドにナースコールがついています。看護師が常時おりますので何かありましたら、お知らせください。



ベッドはリクライニングチェアになっており、リモコンで調整することができます。その際、肘掛けなどで手や身体を挟まないようにご注意ください。ベッドを備えた個室もありますので変更されたい場合はご相談ください。

各ベッドにテレビがついています。料金は不要です。備え付けのイヤホンをご利用ください。又、DVDプレイヤーを使用されたい場合、看護師に声をかけてください。

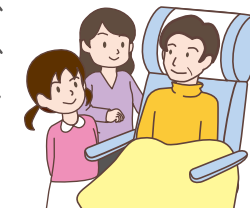
トイレは、室内にあります。**患者さん専用**のトイレですので、患者さん以外の方は利用をご遠慮ください。

室内で自由に食事や水分を摂っていただけます。**点滴の前に内服する薬がある場合がありますので、水やお茶**など飲料水をご持参ください。



抗がん剤治療に関するパンフレットや治療に関するDVDもご用意しております。治療の時間を利用してご覧ください。

ご家族や付き添いの方は、ソファやテレビがありますので、室内で過ごしていただくことができます。ご希望があれば、リクライニングチェアのそばに付き添っていただくことも可能です。



治療当日の1日の流れ

① 手続き〈1F〉

外来受診の手続きをしてください。

② 採 血〈2F〉

予約票に『採血』と記入のある方は、2階中央採血室で採血をしてください。(地図は裏表紙)
※レントゲンがある場合は、1F中央放射線部へまたその他の検査がある場合は各検査室へ行ってください。



③ 各診療科受付へ

(1)体重・血圧・体温測定をしてください。
(2)問診システムの入力
自宅での副作用の状況をiPadで入力してください。



④ 診 察

各科外来で主治医の診察を受けてください。血液検査の結果が出るまでに時間がかかります。当日の体調・検査結果で治療を行うかどうかを決定します。



⑤ 治 療〈3F〉

外来化学療法室が混み合っている場合、各診療科で待機していただきます。ご協力をお願いします。治療を行うことが決定しましたら、各診療科受付を通して、外来棟3階『外来化学療法室』へお越しください。(地図は3ページ)



⑤ 会 計〈1F〉

治療後、会計窓口3番へ行っていただきます。各診療科外来へ帰っていただく場合にはご説明します。



外来化学療法室の流れ

① 入室

料金表を看護師に渡してください。

② 体重・血圧測定

入口に計測器があり、来られた順番に測ります。ご自分で計測できる方は体重・血圧を測定し、用紙を看護師に渡してください。(各科で計測した場合は不要です)

③ 予約ベッドに案内

看護師がご案内します。診察券を机の上に出しておいてください。トイレをすませベッドにお上がりください。点滴確保のために腕をホットパックで温めます。



④ 薬剤が届く

⑤ 点滴の開始

途中で看護師が見回りに行きます。



⑥ 終 了

体温・血圧測定をします。

⑦ 点滴を抜く

生理食塩水を十分流して点滴を抜きます。

⑧ テープ固定

⑨ 退 室

注意事項① 治療前

- ①風邪など体調が悪い場合は、診療時に申し出てください。
- ②治療前に内服する薬がある方は、必ず持参してください。
- ③治療前にトイレに行っておいてください。
- ④以前、薬や注射で発疹やかゆみの出たことがある場合は必ず申し出てください。



注意事項② 治療中（点滴中）

- ①点滴中、看護師が適宜観察を行っております。
血管外への漏れの予防の為に、注射部位に**痛みや熱感、違和感があったり、周囲が赤くなったり、腫れたりしている**場合はすぐにお知らせください。
- ②点滴中、トイレに行かれるときはナースコールで知らせてください。
- ③点滴中、次のような場合はすぐに申し出てください。



体にかゆみが
急激に出たとき



体がほてった
ような感じのとき



汗が
出てくるとき



全身に発疹が
出たとき



胸がどきどき
するとき



息苦しい
感じのとき

注意事項③ 治療後（点滴後）

- ①針を抜いた後は出血の恐れがあるため、止血の後に点滴をした方の手でバッグを持ったり、力を入れたりしないようにしてください。
- ②副作用が出現した場合、自宅に対処していかなくてはなりません。
自宅で体調がわるくなった場合や困ったことがありましたら**連絡・相談**してください。



このような場合には相談しましょう

- 38℃以上の熱が出た。感染の徴候がある
- 24時間嘔吐が続き、何も口にできない
- 1日5回以上の下痢、水のような下痢
- 口内炎がひどく食事ができない
- 带状疱疹の症状(刺すような痛み、ひりひりした感じ、皮膚のかゆみ、発疹、時に発熱や頭痛を伴う事もあります)がある
- 日常生活に支障があり、ほとんどに介助が必要



愛媛大学医学部附属病院(代表)

☎089-964-5111

平日(8:30~17:15まで)は各科外来

☎089-960-

夜間・休日は各科病棟

☎089-960-

通院治療での注意事項

1 外出について

抗がん剤治療では身体が疲れやすくなっているため、外出は無理のない程度に行いましょう。気分転換することも大切です。ただし、疲れを感じたら十分に休息しましょう。外出先から帰宅した際には、手洗い・うがいを行い感染予防に努めましょう。

2 予防接種について

インフルエンザなどの予防接種については、受ける時期などに制限がありますので、主治医にご相談ください。

3 性生活について

抗がん剤治療によって男性、女性ともに生殖機能に影響が及ぶ可能性があります。これは、抗がん剤の種類、投与期間、性別、年齢などによって影響すると考えられています。治療を始める前にパートナー、医師と共によく話し合っておく必要があります。また、避妊が必要な場合もありますので、医師や看護師にご相談ください。

4 たばこ・お酒について

たばこやお酒は、がんとの関連が指摘されています。喫煙は痰などの分泌を増加させるため、禁煙することをお勧めします。医師ともご相談ください。

相談があれば 看護師へお伝えください

◎治療の副作用について

吐き気、食欲低下、口内炎、味覚障害、皮膚障害、便秘、下痢、発熱、むくみ、しびれ、痛み など

◎気持ちのつらさについて

◎院内にある 相談窓口について

◎経済的なことについて

◎生活（暮らし）の事 について

◎ウィッグ（かつら）に ついて

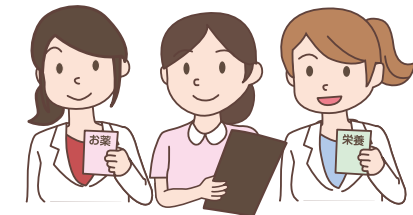
◎その他の身体症状について

◎お薬について

◎今後の治療や療養先・ 緩和ケアについて

◎介護・福祉サービスなどの 社会福祉制度について

◎食事・栄養について



化学療法室には専任の薬剤師・栄養士がいます。ご自身の治療に関する薬剤や栄養について知りたい事があればお伝えください。治療時間に合わせて、お話しできるように調整します。

また、院内には地域の関連機関と連携する窓口である総合診療サポートセンターがあります。その他院内には心理士や社会福祉士もいますので、病気の事や生活上の問題・心配事などを解決に向けてお手伝いします。（総合診療サポートセンターのご案内パンフレットをご覧ください。）

副作用について

副作用の内容や程度は抗がん剤の種類や投与量により異なります。いつからどのような症状が出現したのか、何日ぐらい続き、どの程度であったか、どのように対処したのかを**日誌につけ自分自身で観察していく**ことは、外来で治療を継続していくために大切なことです。この経過について、医師や看護師に話していただき一緒に振り返ることで、副作用を最小限にするための効果的な対策(抗がん剤の投与量を調整したり、副作用を軽減させるための薬を処方したり…など)を考えたいと思います。早い時期に自分にあった対処法をみつけ、治療が継続できるよう一緒に工夫していきましょう。

※治療日誌をつけましょう。(薬剤によっては専用の日誌をお渡しの事ができます。)



主な副作用の出現時期

- 投与当日

■吐き気 ■嘔吐 ■血圧低下 ■不整脈
■アレルギー症状(皮膚の赤み、かゆみ、じんましん)
- 2〜3日

■吐き気 ■嘔吐 ■便秘
■疲労感(倦怠感、無力感) ■食欲不振など
- 7〜14日

■口内炎 ■下痢 ■発熱
■出血(内出血、鼻血、歯ぐきからの出血)など
- 14〜28日

■脱毛 ■皮膚の乾燥 ■ツメの変形
■手足のしびれ ■膀胱炎 ■色素沈着など

副作用チェックシート

〈症状出現時に○をつけてください〉

治療日(月 日)()

月 日	/	/	/	/	/	/	/
吐き気							
嘔吐							
便秘							
下痢							
食欲低下							
口内炎							
味覚障害							
皮膚障害							
発熱							
むくみ							
しびれ							
痛み							
疲れ							
体重							
その他 気になること							

副作用チェックシート

〈症状出現時に○をつけてください〉

治療日(月 日)()

月 日	/	/	/	/	/	/	/
吐き気							
嘔吐							
便秘							
下痢							
食欲低下							
口内炎							
味覚障害							
皮膚障害							
発熱							
むくみ							
しびれ							
痛み							
疲れ							
体重							
その他 気になる こと							

副作用チェックシート

〈症状出現時に○をつけてください〉

治療日(月 日)()

月 日	/	/	/	/	/	/	/
吐き気							
嘔吐							
便秘							
下痢							
食欲低下							
口内炎							
味覚障害							
皮膚障害							
発熱							
むくみ							
しびれ							
痛み							
疲れ							
体重							
その他 気になる こと							